



全国の学生から集まった夢を紹介!



TOWNWORK Presents

キャンパスライフ・プラスワン Campus Life+1 通信

～教えて!みんなの夢～ Vol.17

学生の皆さんへの夢募集企画

「Campus Life+1」に

お寄せいただいた夢をご紹介します。

どのような夢を持っているのか?

その夢を持つに至った背景は?

今、どんなことに取り組んでいるの?

全国の学生の皆さんの「夢」に迫ります!

Profile

千葉大学4年生
岩井由実さん(23歳)

現在、群集生態学研究室に所属。フィールドワークで様々な植物を採取・研究する日々を過ごしている。幼少期から野菜のかごを背負って歩くなど、根っからの植物好き。



シードバンクを作り、植物の種子を保存 貴重な野菜や野生植物を残したい!

私の夢は、植物の種子を収集・貯蔵するシードバンクを作り、その土地でしか栽培されていないような野菜や、野生植物の種子を保存することです。ここ20年近くで、自然界を取り巻く環境が大きく変わっています。例えば、私たちが幼い頃に道端で見かけた雑草の中には、外来種の浸食によりすでに絶滅してしまったものもあります。また、特に地方では農家の後継者不足が進み休耕田が増えたり、山の手入れをする人がなくなったことで、貴重な当地の野菜や野生植物が姿を消しつつあるのです。この危機的状況を打開するために有効となってくるのが、植物の種子を保存するシードバンクです。現在、日本にもシードバンクはあるのですが、企業や研究のために作られた施設がほとんどです。そこで私は、研究者や企業だけではなく農家や一般の方が誰でも気軽に利用できるシステムにしたいと考えています。種子を必要としている人に提供してあげたり、栽培することが困難になってしまった人から種子の提供を受けて保存したいと考えています。その結果、日本固有の素晴らしい植物が後世に残されるような社会となることを願っています。

そもそも私がこのようなことを思うようになったのは、幼い頃から自然が身近なものであったからです。私の祖父母は、千葉県で農家を営んでいました。私は、3歳くらいから畑仕事を手伝うようになり、次第に植物の持つ生命力の素晴らしさを実感するようになっていました。そこで大学では、興味のある植物について学べる生物学を専攻しました。現在は主に、植物の葉の形態を観察・研究したり、種から植物を栽培しています。時には北海道や沖縄などの森林に珍しい植物を採取しに行くこともあります。大学で学んでいることを活かし、素晴らしい自然で溢れる日本にしたいです。



▲研究室で育てている植物たち。中には種から育てて、岩井さんの身長くらいまで成長した植物もある。実家のペランダも植物だらけだとか。

夢への足跡

1994年 3歳

週末になると祖父母の畑仕事を手伝いに行っていた。当時野菜のかごを背負って歩いていたので、ちょっとした近所の有名人だったとか

2011年 19歳

千葉大学入学。理学部生物学科を専攻し、日々生物のことを考える環境に

2014年 23歳

群集生態学研究室という研究室に所属。電子顕微鏡で葉っぱの表面を観察・研究などしている

2014年 23歳

シードバンクを作り、貴重な野菜や野生植物の種子を保存するために Campus Life+1 に応募

主催: **E-ENTAC!** ENJOY TALKING CAMPUS

協賛: TOWNWORK

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

Campus Life+1の最新情報を掲載中!

エンタク

検索

<http://entac.jp/>

